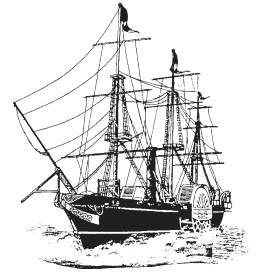


第50号

平成26年 5月15日



市議会だより

■ 2月臨時会 2月3日

■ 3月定例会 3月5日～20日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558 (22) 2220〈直通〉

下田認定こども園竣工式テープカット

下田市立下田認定こども園竣工式



総務文教委員会で質疑

**新庁舎の建設、高台の場合は、
起債対象の7割が交付税。**

詳しくは、次ページの総括をご覧ください。

政治判断を間違えないために、市民みんなで考えよう！

3月議会の主な話題

■新年度(平成26年度)一般会計予算

〔防災関連予算〕

・賀茂地域総合防災訓練

・ハザードマップ整備事業

・津波避難施設整備事業

・津波避難計画作成業務委託

・自主防災会、災害用避難施設整備補助金 等

■ 9特別会計予算

3月定例会総括

3月議会は、新年度の予算を審議し議決する議会です。

平成26年度の予算総額は91億円、前年度の予算93億円に比べると2億円ほど減額されていますが、減額の主なものは認定子ども園の建設事業です。

金額としても全体の2%程度であり、ここ10年間の予算を見てもこの金額であればほぼ前年並みの予算規模です。

10年前の平成17年度の予算は、総額85億円ですから6億円増加しています。

この比較をしてみますと、歳入では、主なもので市税が32億円から28億円と4億円の減、地方交付税が24億円から26億円と2億円の増、国庫支出金と県支出金で7億円の増などです。歳出では、主なものは民生費が22億円から34億円と12億円の増、衛生費が10億円から9億円と1億円の減、農林水産業費が3億円から2億円と1億円の減、公債費（借金返済）が14億円から10億円と4億円の減となっています。

26年度の民生費の主なものは、生活保護費6億5千万円、介護保険会計繰出金3億6千万円、障害福祉サービス事業費3億2千万円、児童手当支給事業費3億円、国民健康保険会計への繰出金が2億4千万円などです。

生活保護費の内訳は、医療費が3億6千万円で全体の55%、生活扶助費が1億8千万円、住宅扶助費が9千万円などです。26年1月末現在で、保護世帯323世帯、その内高齢者世帯が190世帯、傷病者世帯が65世帯、障害世帯が25世帯などです。（保護人数384人）

26年度の施政方針では、重点事項として最初に防災対策事業が挙げられています。地域防災対策費は1億3千万円で前年度3億円に比べると56%減です。

主な事業は防災訓練に1千6百万円、防災ラジオに1千5百万円などです。総務文教委員会協議会では、避難路、避難場所の整備のための予算が不十分であり、下田小学校、下田保育所の避難場所として急傾斜対策事業とからめた春

日山の避難路、避難場所整備の必要性が話し合われました。

また、新庁舎の建設については高台移転した場合の事業費35億円のうち、起債対象外費用6億円・基金6億円を差し引いた23億円について全額起債が認められ、その内7割の16億円が交付税措置として国から支払われる事が確認されました。



委員長

小泉孝敬

副委員長

伊藤英雄

委員

土屋雄二

大黒孝行

岸山久志

大川敏雄

土屋忍

条例

議第11号 下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

この条例は、公的年金からの特別徴収税額の算定方法の見直しで仮徴収税額を前年税額の二分の一に相当する額に改めるものです。また金融所得の課税方法の見直しについては広く一般的に取引される金融証券（上場株式等、特定公社債等）から生ずる所得の間で損益通算を行うことができる損益通算範囲の拡大、及びその他の所要の想定の整備と地方税法に定める金融所得について課税標準の計算の細目に関する記載を削るものです。

得の課税方法の見直しについては広く一般的に取引される金融証券（上場株式等、特定公社債等）から生ずる所得の間で損益通算を行うことができる損益通算範囲の拡大、及びその他の所要の想定の整備と地方税法に定める金融所得について課税標準の計算の細目に関する記載を削るものです。

公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
この条例は、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める条例の一部改正によるため、公務災害補償のうち介護補償にかかる条文に関係する部分で、国において地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保険福祉施設を講ずるための関係法律の整備に関する法律が平成24年6月27日に公布され、その一部が平成26年4月1日から施行されることによるものです。法律第5条第10項を削るとされたため5条12項が5条11項に繰り上がりとなったものです。

*企画財政課

平成26年度
下田市一般会計予算

■下田市地域公共交通会議
負担金 1800万円

地域公共交通会議はバス、タクシー等地域の公共交通について、市自らが協議するためのものです。地域の公共交通について、地域が生活交通のあり方を審議し、地域の交

- この条例は、椎原公民館及び北湯ヶ野公民館を廃止し併せて字句の整理を行うためのもので、市立公民館は次のようになります。
- 下田市立中央公民館 四丁目6番16号
- 下田市立稲生沢公民館 立野191番地
- 下田市立本郷公民館 西本郷二丁目13番21号
- 下田市立中公民館 西中19番地13
- 下田市立朝日公民館 吉佐美883番地の1
- 下田市立白浜公民館 白浜2741番地の5
- 議第14号 下田市消防団員等

通計画を策定し主体的に協議運営するものです。

■下田市自主運行バス事業

補助金 675万7千円

賀茂逆川線、田牛線、2路線の補助金です。

■下田市継続困難バス補助金

180万円

大賀茂線、須崎線2路線について継続するために地区、業者、市が互いに話し合った結果の補助金です。

■鉄道施設総合安全対策事業

費補助金 250万円

市が伊豆東海岸鉄道整備株式会社に対し、谷津トンネル補強工事の為に補助金です。

■社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）適用改修

委託 1723万7千円

国民一人ひとりに固有の個人番号と企業や官公庁に法人番号を割り当て、社会保障や税に関する情報を一元的に管理する制度の適用改修委託費です。

*総務課

■庁舎建設基金積立金

3300万円

平成26年度末見込残高

約6億円

*地域防災課(旧市民課)

■防犯対策事業

1271万2千円

市内1800本ある市管理の防犯灯の維持管理費です。

■地域防災対策総務事務費

1億77万6千円

主なものは、災害用備蓄品（647万5千円）防災ラジオ（1539万円）同報無線保守点検及びバッテリー交換委託（383万1千円）津波避難計画策定業務委託（998万円）市内6ヶ所避難誘導標識設置工事（270万円）防災用備品（730万6千円）等です。

■地域防災組織育成事業

583万2千円

主なものは、市内48自主防災活性化事業補助金、災害用避難施設整備事業補助金（150万円）救命胴衣等購入補助金（80万円）等です。

■ハザードマップ整備事業

533万円

土砂災害ハザードマップを整備するための委託料です。

■総合防災訓練事業

1636万5千円

平成26年8月31日下田市を

メイン会場に下田市・賀茂5町で実施する静岡県総合防災訓練の経費です。

■消防施設等整備事業

1191万3千円

主なものは、今年度3分団第三部（稲梓小下の詰所）に配備される小型ポンプ付積載車1台の購入費その他修繕料です。

■消火栓整備事業

109万2千円

既設364基の消火栓の維持管理経費です。

*福祉事務所

■臨時福祉給付

8000万円

消費税率の引き上げに際し低所得者に与える負担の影響に鑑み一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のため、措置と合わせ低所得者に対する適切な配慮を行うため暫定的、臨時的な給付金措置で市町村税が課税されていない者に1万円・平成26年4月の特例水準解消を考慮し老年基礎年金、障害者基礎年金、遺族年金等の受給者には5千円の加算を行うものです。

■子育て世帯臨時特例給付

2000万円

消費税率の引き上げに際し子育て世帯への影響を緩和するとともに子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置を行うものです。児童手当の上乗せではなく、臨時福祉給付金と類似の給付金としてこれと併給調整をして支給するものです。基準日における平成26年1月分の児童手当の受給者であつて、その平成25年度の所得が児童手当の所得制限額に満たないものです。

■生活保護適正実施事業

主なものは、受給者の診療報酬、請求明細書の点検業務委託及びシステム改修委託です。

*学校教育課

■認定こども園管理運営事業

1億9183万4千円

認定こども園は、保育室（8室）・予備室・ホール・相談室・調理室・職員室等からなる鉄骨2階建、施設定員211人で新年度から開園しました。園長1人、副園長2人、保育士・教諭27人、調理員6人の合計36人及び園医報酬等の

の人員費を含めた管理運営費です。



認定こども園現地視察風景（園庭）

■奨学振興事業

340万円

この事業は、新規の教育資金利子補給事業補助金（100万円）ニューポート市中学生派遣補助金（120万円）下田市就学奨励交付金（120万円）です。

■子ども・子育て支援事業

1990万2千円

主なものは、子ども・子育て支援システム導入、子ども・子育て支援事業の策定、子ども・子育て会議の開催、社会全体で支援する政策としての子ども・子育て関連3法の施行に向けた準備事務です。

■小学校管理事業

①稲生沢小学校屋内運動場

天井改修工事

1566万5千円

②白浜小学校屋内運動場
天井改修工事
1368万8千円

■中学校管理事業

下田中学校屋内運動場トイレ洋式化工事 160万円

■中学校教育振興事業

市内中学校電子黒板購入 900万円

***生涯学習課**

■公民館管理運営事業

主なものは、光熱水費（49万4千円）椎原公民館解体工事費（119万円）です。

■下田市民スポーツセンター管理運営事業

2592万8千円
主なものは、下田市民スポーツセンター指定管理料（1730万1千円）下水道接続工事（800万円）です。

■市史編纂事業

409万3千円
主なものは、古文書調査費（256万8千円）です。

■社会体育活動推進事業

213万8千円
主なものは、静岡県市町村対抗駅伝大会補助金（90万円）下田市河津駅伝競走大会実行

委員会補助金（25万円）下田市スポーツ祭委託費（20万8千円）全国大会等出場補助金（11万円）です。

平成26年度
下田市特別会計予算

■下田市稲梓財産区特別会計

予算 130万円

■下田市公共用地取得特別会計

予算 302万円



委員長 竹内清二

副委員長 高橋富代

委員 鈴木 敬 沢登英信

藤井六一 増田 清

森 温繁

条 例

議第10号 下田市歯科口腔保健の推進に関する条例の制定

市民の健康増進に寄与するため、歯と口腔の健康保持の推進に関する基本理念および施策の基本的事項を定めるものです。この条例の制定により、市民の日常生活における歯科疾患の予防に向けた自主

的な努力の促進を計りつつ、保健、医療、福祉、教育その他の関連施策との有機的な連携を講じていくこととなります。

平成26年度
下田市一般会計予算

***市民保健課**
(旧健康増進課分)

■高齢者保健福祉計画推進事業

400万4千円
主なものは、高齢者保健福祉計画策定業務委託費360万円です。

■災害医療体制強化推進事業

206万5千円
市内4中学校及び白浜小学校、計5カ所に常備する災害時の救護所資機材、備品等を購入するための費用です。

■予防接種事業

5858万3千円
定期予防接種やインフルエンザ予防接種に関わる委託費です。本年度より新たに日本脳炎接種とジフテリア破傷風2種混合ワクチン接種の委託料が加わりました。

***環境対策課**

■ごみ収集事務

1億5022万2千円

一般職員8名の給与に加え、リサイクル分別収集業務委託費3600万円、ビンガラス及び粗大ごみ処理委託費1975万6千円、可燃ごみ収集委託費3471万1千円（債務負担）が主なものです。

■焼却場管理事務

1億6639万5千円

一般職員8名の給与に加え焼却施設維持管理に関わる経費（光熱水費、修繕費、薬品代）5014万1千円、焼却灰等処理委託費4276万8千円が主なものです。

■環境対策事務

534万1千円

主なものは、20基分の住宅用太陽光発電システム設置費補助金240万円です。

***産業振興課**

■農業振興事業

966万6千円

主なものは、青年就農給付金675万円です。

■林業振興事業

733万7千円

主なものは、起業支援型地域雇用創造事業を活用した間

伐材等利用活性化促進事業委託費537万円です。

■有害鳥獣対策事業

1100万4千円

主なものは、地域人づくり事業を活用した有害鳥獣被害防止対策業務委託費700万円です。

■田牛漁港機能保全計画策定業務

1476万3千円

主なものは、田牛漁港の長寿命化対策および海砂の流入を防止するための機能保全計画策定業務委託費1000万円です。

■商工業振興事業

2436万6千円

主なものは、起業支援型地域雇用創造事業を活用したインキュベーター育成事業委託費281万5千円、地域人づくり事業を活用した地域活性化対策支援事業委託費216万6千円、小規模事業指導事業費補助金1000万円、住宅リフォーム振興助成金500万円、下岡蓮枝プロジェクト推進事業補助金180万円、下田がんバルやきんめがどくん等を推進するための美味し

いまちづくりプロジェクト推進事業補助金150万円です。

*観光交流課

■観光まちづくり推進事業

7415万9千円

主なものは、起業支援型地域雇用創造事業を活用した伝統芸能継承者育成業務委託費475万2千円、地域人づくり事業を活用した下田芸妓文化継承業務委託費1400万円、同じく地域人づくり事業を活用した地域観光人材活用業務委託費600万円、下田市観光協会補助金2774万円、黒船祭執行会補助金1690万円等です。

■世界一の海づくり事業

2289万1千円

主なものは、起業支援型地域雇用創造事業を活用した世界一の海づくりプロジェクト推進事業委託費300万円、地域人づくり事業を活用した世界一の海づくりプロジェクト人材育成業務委託費350万円、世界一の海づくりプロジェクト推進業務委託費220万円、夏期海岸対策協議会補助金1200万円です。

■多々戸温水シャワー施設管理運営事業

208万6千円

主なものは、多々戸温水シャワー施設清掃等業務委託費108万円です。

■伊豆半島ジオパーク推進整備事業

1411万8千円

主なものは、恵比寿島公衆トイレ整備工事費1400万円です。

■外ヶ岡交流館管理運営事業

3331万2千円

主なものは、1階空調機修繕料1500万円、外ヶ岡交流館指定管理料1790万円です。

*建設課

■道路維持事業

3303万2千円

主なものは、市道維持補修工事費1500万円、敷根1号線道路照明灯LED化更新工事1470万円です。

■交通安全施設整備事業

390万6千円

主なものは、カーブミラーガードレール等の交通安全施設設置工事費350万円です。

■橋梁維持事業

6620万円

寝姿橋耐震補強工事（上部工）費です。

■都市計画総務事務

6259万円

一般職員給与に加え、下田市都市計画マスタープラン改訂業務委託費430万円が主なものです。

■景観推進事業

426万2千円

主なものは、景観パンフレット作成業務委託費120万円、景観まちづくり助成金（2件分の修繕費）200万円です。

■伊豆縦貫道建設促進事業

336万6千円

主なものは、下田市都市計

画原案策定業務委託費270万円です。

■都市公園維持管理事業

1億1675万6千円

主なものは、敷根公園指定管理料6507万4千円、松くい虫被害木伐倒処理業務委託費234万円、敷根公園改修工事費3340万円、敷根公園下水道接続工事663万4千円です。

平成26年度 下田市特別会計予算

■下田市駅前広場整備事業特

12億7730万円

別会計予算 710万円

■下田市民健康保険事業特別会計予算

37億1500万円

■下田市介護保険特別会計予算

23億7590万円

■下田市後期高齢者医療特別会計予算

3億1500万円

■下田市集落排水事業特別会計予算

3500万円

■下田市下水道事業特別会計予算

12億6600万円

3月定例会

一般質問

小泉 孝敬（自公クラブ）

（1）下田市の防災対策について

（2）下田市新庁舎建設について

（3）下田市の医療体制について

（4）下田市の水道事業について

森 温繁（自公クラブ）

（1）観光振興と経済活性化事業について

（2）未来の人づくりについて

鈴木 敬（政新会）

（1）平成26年度の施政方針について

沢登 英信（日本共産党）

（1）介護保険法大改悪に対する市当局の姿勢について

（2）少子高齢化、人口減少危機宣言について

（4）世界一の海づくり、美しい里山づくりに

ついて

（3）下田開港160周年記念事業について

伊藤 英雄（政和会）

（1）新庁舎の建設について

（2）まちづくり懇話会について

（3）防災について

（4）公民館の廃止又は譲渡について

大川 敏雄（明政会）

（1）地震・津波防災および減災対策について

（2）新庁舎建設にむけての今後の取り組みについて

（3）教育行政における課題への対応について

県より派遣、大石哲也 地域防災課長に聞く



Q 生年月日、出生地、最終学歴、職歴、家族構成、趣味を聞かせてください。

A 昭和43年4月生まれの46歳、袋井市出身の静岡市育ち、埼玉大学を卒業後、平成4年に静岡県採用、主な職歴は、経理関係が多く、財政課には担当で5年、副班長として3年在籍、危機管理部門では、内閣府防災に1年、直近は危機対策課対策班長として3年間に在籍していました。家族構成は妻と高校生と中学生の息子がおり、趣味は自転車、現在は、朝、下田市内をいろいろと走っています。

Q 派遣元の静岡県では危機管理の職務をされていたと伺いました。下田市地域防災課長着任に至った昨年度までの

職務や経験について聞かせてください。

A 防災関係では、直近は危機対策課において、各種の災害対応や訓練の企画等を実施していました。また、そのほかにも、砂防課などにも在籍しており、土砂災害への対応なども、ある程度の制度的な知識もあります。

また、財政課時代は、病院、警察、健康福祉、危機管理部等の予算を持つっており防災に関係する部署とのネットワークもあり、下田市関連ですと、つくし学園、湊病院、ドクターヘリの夜間運行等にも関係していたため、そのあたりの経験も含め選任されたかと思っています。

Q 着任前、下田に関してどのようなイメージをお持ちでしたか？着任の辞令を受けた時の感想も含めて聞かせてください。

A 下田市には、大学生のころに父親が伊豆振興センターの所長として2年間おり、時々来ておりしたので何となく親近感がありましたが、静岡市からは非常に遠いところだと思っていました。

また、着任辞令を受けた時には、おそらく自分が選任されるだろうなと思っておりました。

Q 着任後数週間が過ぎました。現時点での下田市役所内、課内の雰囲気は如何ですか。

A 着任前は、今回の県の派遣の中では最年少ということもあり、不安もありましたが、現在は、職員の皆様にも助けられ、できるだけ早くなじむようにと思っております。また、課内の雰囲気も非常に協力的なので大変助かっております。

Q 昨年度までの下田市行政内で行ってきた防災対策や事業について、不足していると感じたものは何ですか？併せて特化していると感じたものはありますか？

ものがありますか？

A 下田市に限ったことではありませんが、どこの市町村の庁内においても防災担当部署に過度の期待を寄せている面があります。災害対応は、大規模な災害になるほど持久戦になってくるので、一つの部署に負担をかけるとやがて破たんします。そうならないような、体制作りと全職員の意識改革が必要であると思います。

Q 県からの派遣ということ、市内からは県行政との連携を期待する声が聞かれます。防災減災事業における県との協働事業はどのようなものがあるでしょうか？

A 私は、防災にもおりましたが財政課にもおりましたので、危機管理部以外の制度についてもある程度の知見と県庁内でのネットワークを持っております。そこを生かし、できるだけ下田市に有利な制度の紹介と実現ができたらと思っています。

Q 8月末に下田市・賀茂郡を拠点として開催が予定されている「総合防災訓練」について尋ねます。この訓練の詳細を聞かせてください。

A この訓練は、静岡県が毎年、県内の全市町ともに行ってきたもので、下田市で例年実施している総合防災訓練もその一環になります。

ただし、県が実施する主な訓練としてこれまで、東部、中部、西部の市町を順番に一つないしは複数とともにやってきたものに今回、初めて下田市・賀茂郡が指定されたものです。

Q この実施に向けて、公助（市）、共助（自主防災会・地域等）および自助（各市民個人）が事前に進めておくべきこと、当日の携わり方について聞かせてください。

A 県の防災訓練には、大きなものは3つありまして、総合防災訓練、12月の地域防災訓練、1月の大規模図上訓練です。

このうち、自助共助が主になる訓練として12月の地域防災訓練があります。

また、夏の総合防災訓練については、各市民個人や自主防災会や地域等が訓練を実施するにあたり、警察や消防、自衛隊、海上保安庁などの公

的な機関が連携する訓練です。
このため、自助共助だけでは実現できない訓練を市民の方々にも協力していただく形になります。

非常に良い機会ですので、公的な部隊が入ってきた時のやり取りなど、連携の仕方について学んでいただきたいと思っています。

Q この訓練を通して下田市および下田市民が得られる可能性のある防災力について具体的に聞かせてください。

A この訓練においては、できるだけ災害が起こる現場に合わせた訓練をしたいと思っております。1か所に集まって行う展示型の訓練ではイメージできないことも、実際に起こりそうな現場で実施することにより、市民の防災に対するイメージ作りができると思います。これにより、実災害においてもそのイメージ従った行動をすることができると、減災にもつながっていくものと思っております。

Q 今後の下田市防災減災の展開、展望について、課長が求めるもの、取り組んでいきたい内容等を聞かせてください。

い。

A 私が求めるものは、いつ何時、どのような事態であっても、その状況に応じた判断がすぐにできるような体制作りをしていきたいと思っています。その判断は、時には間違ってもあるかもしれません、判断が遅れることによる損失に比較すればはるかに少ないと考えています。また、その判断ができる職員が増えていければと思っております。



【お詫びと訂正】

議会だより49号（平成26年2月21日発行）中、8頁の表において議第61号から議第72号までの番号及び審議結果の表示が誤っておりました。正しくは以下の表のとおりです。お詫びして訂正します。

12月定例会審議結果

議第61号	監査委員の選任について	同意
議第62号	教育委員会委員の任命について	同意
議第63号	小学校教育用パソコン購入契約の締結について	原案可決
議第64号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第65号	ハリスの足湯指定管理者の指定について	原案可決
議第66号	下田市総合福祉会館指定管理者の指定について	原案可決
議第67号	加増野ポーレポーレ指定管理者の指定について	原案可決
議第68号	あずさ山の家指定管理者の指定について	原案可決
議第69号	下田市交通安全対策推進基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議第70号	下田市防災基金条例の制定について	原案可決
議第71号	下田市緊急地震・津波対策基金条例の制定について	原案可決
議第72号	下田市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	下田市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第74号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第75号	下田市外ヶ岡交流拠点施設条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第76号	平成25年度下田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第77号	平成25年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第78号	平成25年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第79号	平成25年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第80号	平成25年度下田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第81号	平成25年度下田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

2月臨時会審議結果

番 号	2 月 臨 時 会 議 案 件 名	審議結果
報第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成25年度下田市一般会計補正予算(第6号))	承認
議第1号	認定こども園建設用地造成工事請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第2号	認定こども園建設工事(建築)請負契約の締結についての一部変更について	原案可決

3月定例会審議結果

番 号	3 月 定 例 会 議 案 件 名	審議結果
議第3号	平成25年度下田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議第4号	平成25年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議第5号	平成25年度下田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第6号	平成25年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第7号	平成25年度下田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第8号	平成25年度下田市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議第9号	指定金融機関の指定について	原案可決
議第10号	下田市歯科口腔保健の推進に関する条例の制定について	原案可決
議第11号	下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第12号	下田市外ヶ岡交流拠点施設条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第13号	下田市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第14号	下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第15号	平成26年度下田市一般会計予算	原案可決
議第16号	平成26年度下田市稲梓財産区特別会計予算	原案可決
議第17号	平成26年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計予算	原案可決
議第18号	平成26年度下田市公共用地取得特別会計予算	原案可決
議第19号	平成26年度下田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議第20号	平成26年度下田市介護保険特別会計予算	原案可決
議第21号	平成26年度下田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議第22号	平成26年度下田市集落排水事業特別会計予算	原案可決
議第23号	平成26年度下田市下水道事業特別会計予算	原案可決
議第24号	平成26年度下田市水道事業会計予算	原案可決
発議1号	下田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
発議2号	大沢地区の産廃埋立施設に過剰搬入された産業廃棄物の撤去を求める意見書の提出について	原案可決
発議3号	介護保険の要支援への保険給付の継続を求める意見書の提出について	原案可決

議会を傍聴 しましょう

市議会へのご意見ご要望をお寄せ下さい

意見書提出

◎平成26年3月20日に地方自治法第99条の規定により、次の意見書を静岡県知事に提出しました。

・大沢地区の産廃埋立施設に過剰搬入された産業廃棄物の撤去を求める意見書

◎平成26年3月20日に地方自治法第99条の規定により、次の意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣に提出しました。

・介護保険の要支援への保険給付の継続を求める意見書

編集後記

天城が雪に埋もれた日から食品コーナーの品物が激減しました。40年近く前、2年連続で大雨洪水に遭い陸の孤島となった下田を思い出し、その40年前と変わらぬ伊豆の災害からの弱さを感じてしまいました。

伊豆縦貫道は3次救急へ行くための命の道とあっていましたが、逆ルートでの物質搬入のための命の道でもある事をあらためて痛感しました。これから育つ未来の子供たちのためにも、また、もしもの災害の時でも、1人でも不便さを感じることなく、もちろん1人の犠牲者が出ることもない命の道を1日でも早い完成を要望していかねければ。

(※)

編集委員会

◇委員長 小泉 孝敬
◇副委員長 竹内 清二
◇委員 伊藤 英雄
岸 高 橋 富 代
山 久 志